

エコアクション21

環境経営レポート



エコアクション21[®]
認証番号0009738

対象期間 : 2023年7月 ~ 2024年6月

発行日 : 2024年8月1日



株式会社 橘一吉工務店

社長挨拶

理想の家はお客様一人ひとりによって違います。私どものたてる家には標準設計のような

ものはありません。お客様の大切な財産となる家を、お客様と一緒に考え、つくり、守って

いきたいと考えております。

また、雨漏りがする、ドアの具合が悪い、使い勝手が悪くなった間取りはなんとかならないか

などの建物に関するちょっとした問題はどこに相談すればよいのかお悩みの方も多いはず

です。私たちはそんなときに気軽にお声をかけていただける、建築のかかりつけ医のような

存在でありたいと願っています。

昭和21年の創業以来、我々は思いやりの心と技術を通して、地域社会及びお客様の

信頼を得ることを理念として営業してまいりました。お客様のご要望やお悩みに迅速かつ

丁寧に対応することで、より皆様に愛される工務店を目指して参りたいと考えています。

株式会社 橘一吉工務店

代表取締役 橘 伸太郎

1. 組織の概要、対象範囲

事業所概要			
事業所名	株式会社 橘一吉工務店		
代表者名	代表取締役 橘 伸太郎		
所在地	本社	香川県高松市花園町2丁目2番5号	
	資材倉庫	香川県高松市川島東町482	
環境管理責任者氏名 及び連絡先	氏名	総務部部长	
	連絡先	TEL	087-861-5470
		FAX	087-861-7987
		MAIL	tatibana@beach.ocn.ne.jp
		HP	http://www.tachibanakk.jp
事業内容	建築工事業(許可番号:香川県知事許可(特-3)第664号) 土木工事業(許可番号:香川県知事許可(特-3)第664号) 不動産業(許可番号:香川県知事許可(15)第1135号)		
事業の規模	創業	1946年(昭和21年)2月1日	
	資本金	2000万円	
	売上高	200百万円(2023年度)	
	工事等の件数	348件(2023年度)	
		本社	資材倉庫
	従業員	9名	無人
	延べ床面積	256.14㎡	597.55㎡
事業年度	7月～6月		
対象範囲	全組織・全活動		

2. 環境経営方針

株式会社 橘一吉工務店 環境経営方針

基本理念

株式会社橘一吉工務店は、皆様の良きパートナーとして
思いやりの心と技術を通じて、環境に配慮した工事を行い
地域社会に貢献することを目指します。

行動指針

1. 電力・燃料に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境に配慮した工事の推進
5. 地域での環境活動の実施
6. 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。
7. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は、全ての従業員及び協力会社様に周知し、
環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日：2013年6月13日

改訂日：2023年7月1日

株式会社 橘一吉工務店

代表取締役 橘 伸太郎

3. 環境経営目標

中期目標

				対象年度	
目的	単位	基準値	2022年度 目標(−5%)	2023年度 目標(−6%)	2024年度 目標(−7%)
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂ /kWh	18,995	18,045	17,855	17,665
1 1-1 電力使用量の削減	kWh	10,575	10,046	9,940	9,834
1-2 ガソリン使用量の削減	L	5,680	5,396	5,339	5,282
2 産業廃棄物の削減	kg	8,800	8,360	8,272	8,184
3 一般廃棄物量の削減	kg	311	295	292	289
4 水使用量の削減	m ³	41	38	38	38
5 事業活動における環境配慮施工	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
6 会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
7 清掃ボランティアへの参加(年1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%

* 基準値は、2019年度・2020年度・2021年度実績の3年間平均とする。

* 目標値は、基準値比削減とする。 * 初年度は、基準値比−5%を目指す。

* 電力のCO₂発生量については、四国電力の調整後排出係数0.569kg-CO₂/kWh(2020年度)とする。

* 化学物質の使用はありません。

* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

- ①コミュニケーションの強化
- ②着工前準備の徹底
- ③顧客要望の理解

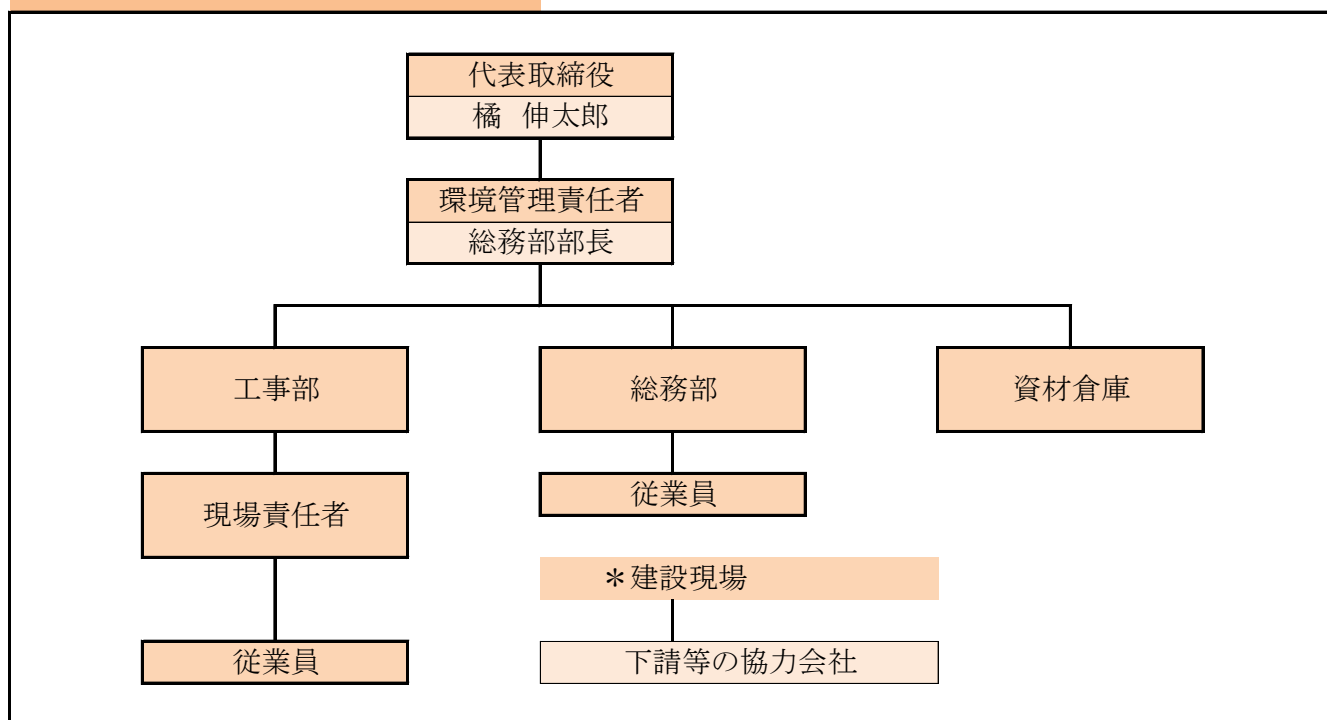
4. 環境経営計画

取組期間:2023年7月1日～2024年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比6%削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②エアコン使用時間を弊社就業時間(8:00～17:30)とする ③定時(17:30)退社を促す	総務部課長
	ガソリン使用量の削減	基準値比6%削減	①車輦点検報告書提出の徹底 ②エコドライブの推進 ③毎月の使用量と目標値をグラフ化し、掲示	総務部部長
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比6%削減	①分別回収を行い、リサイクルを推進する ②段ボールは回収業者にて回収 ③倉庫内資材の整理、利用をする	工事部課長
	一般廃棄物の削減	基準値比6%削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②分別回収を行い、リサイクルを推進する ③間違いプリントの抑制	総務部課長
水使用量	節水	基準値比6%削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②手洗い、食器洗い時、こまめに流水を止める	総務部課長
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	実施率100%	①コミュニケーションの強化 ②着工前準備の徹底 ③顧客要望の理解	工事部課長
地域貢献活動	地域での環境活動	実施率100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	総務部課長

5. 実施体制

株式会社 橘一吉工務店 実施体制図



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境経営活動の取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	工事部	・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営目標の実績・評価

取組期間:2023年7月～2024年6月

単年度目標

○:目標達成 ×:目標未達

環境経営目標		単位	基準値	2023年度 目標(－6%)	実績	達成率	評価
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg－CO2/kWh	18,995	17,855	18,523	96%	×
	1－1 電力使用量の削減	kWh	10,575	9,940	8,278	120%	○
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	5,680	5,339	5,953	89%	×
2	産業廃棄物の削減	kg	8,800	8,272	16,230	50%	×
3	一般廃棄物量の削減	kg	311	292	292	100%	○
4	水使用量の削減	m3	41	38	35	108%	○
5	事業活動における環境配慮施工	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	100%	○
6	会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	100%	○
7	清掃ボランティアへの参加(年1 回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	100%	○

* 基準値は、2019年度・2020年度・2021年度実績の3年間平均とする。* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.569kg－CO2/kWh(2020年度)とした。

* 化学物質の使用はありません。

* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

①コミュニケーションの強化

②着工前準備の徹底

③顧客要望の理解

6. 環境経営目標の実績・評価

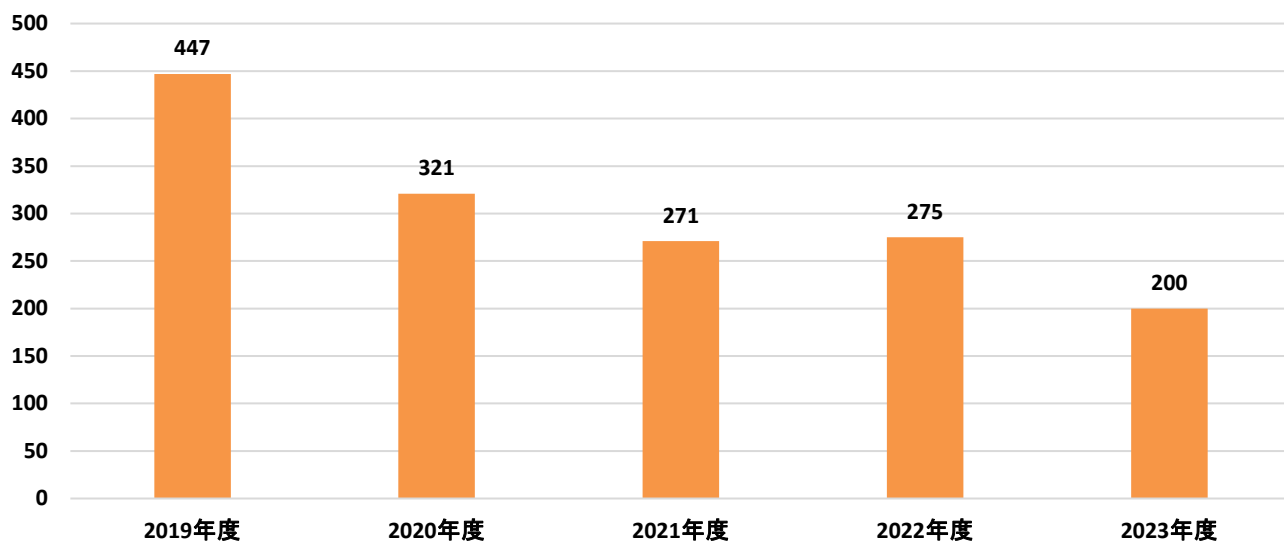
取組期間:2023年7月～2024年6月

環境経営目標		達成率	コメント
1	二酸化炭素総排出量の削減	96%	・2024年1月より太陽光発電システムが稼働し、大幅に電力使用量が削減されたが、猛暑の為、7～9月の車内でのエアコン使用により、ガソリンの使用量が増加し、目標未達となった。
	1-1 電力使用量の削減	120%	・2024年1月より太陽光発電システムが稼働し、大幅に使用量が削減された。 ・定時退社することが多くなり、削減につながった。
	1-2 ガソリン使用量の削減	89%	・猛暑の為、7～9月の車内でのエアコン使用により、ガソリンの使用量が増加した。 ・遠方の作業所があり、増加した。
2	産業廃棄物の削減	50%	・改修工事作業所による廃棄物が増加した。 ・木造住宅新築作業所による建設発生木材が増加した。
3	一般廃棄物量の削減	100%	・社内配布書類をスキャニングしてメール送信にて配布にしたり、社外からの書類受け取りもメールにて受信し、コピー用紙削減に努めた。
4	水使用量の削減	108%	・節水意識が高まりと人員の減少により、水使用量が減少した。
5	事業活動における環境配慮施工	100%	・工事完了後に提出する精算書のチェック項目(*)に○・×・コメントを記載している。
6	会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	100%	・毎月朝礼後終了後に会社周辺道路の清掃活動を行っている。
7	清掃ボランティアへの参加(年1回)	100%	業界団体が実施している清掃活動に参加した。

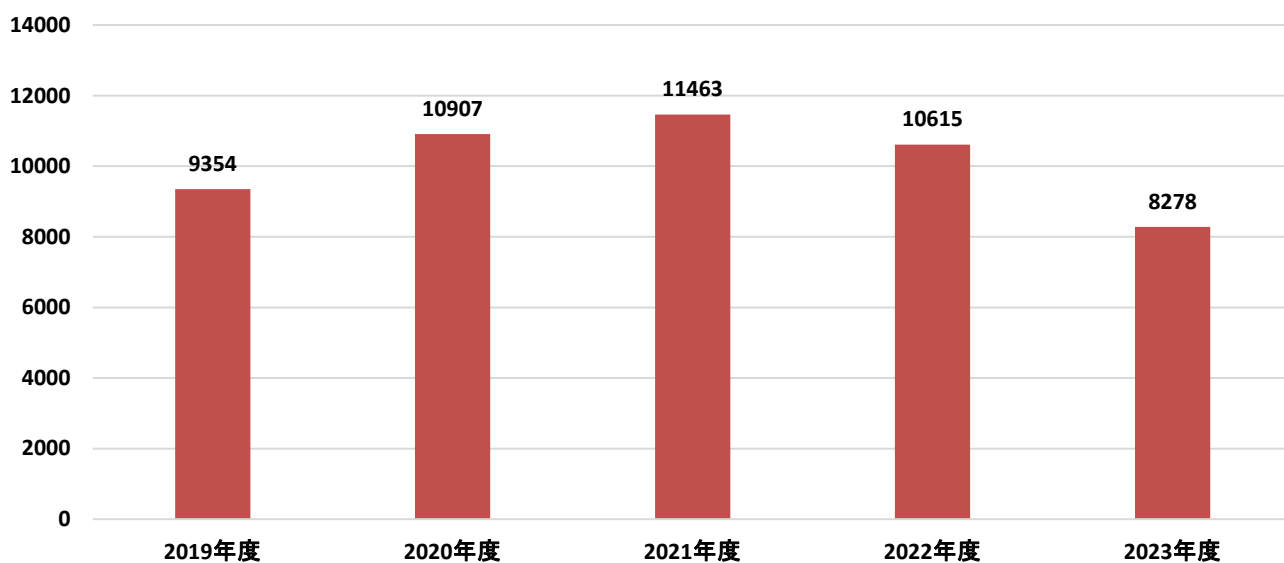
* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

- ①コミュニケーションの強化
- ②着工前準備の徹底
- ③顧客要望の理解

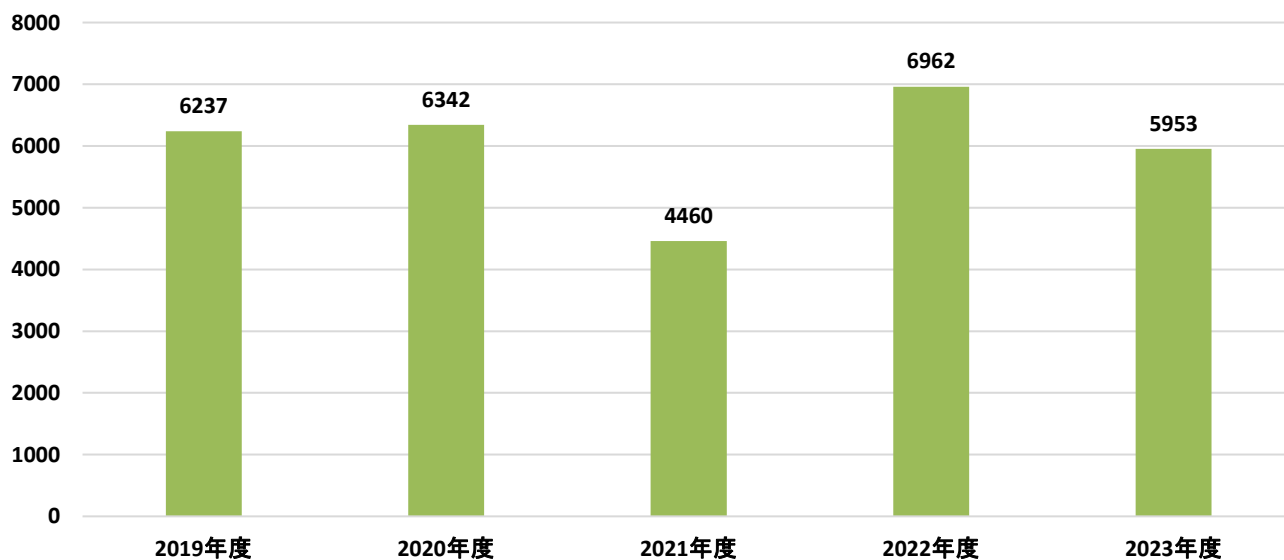
売上高（百万円）



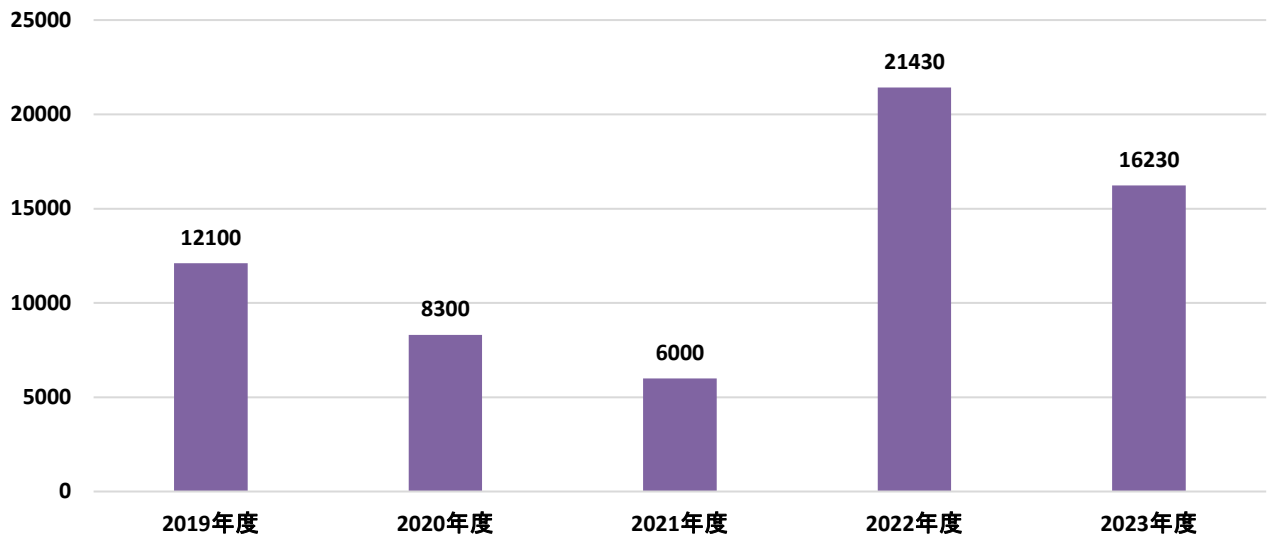
電気使用量（kWh）



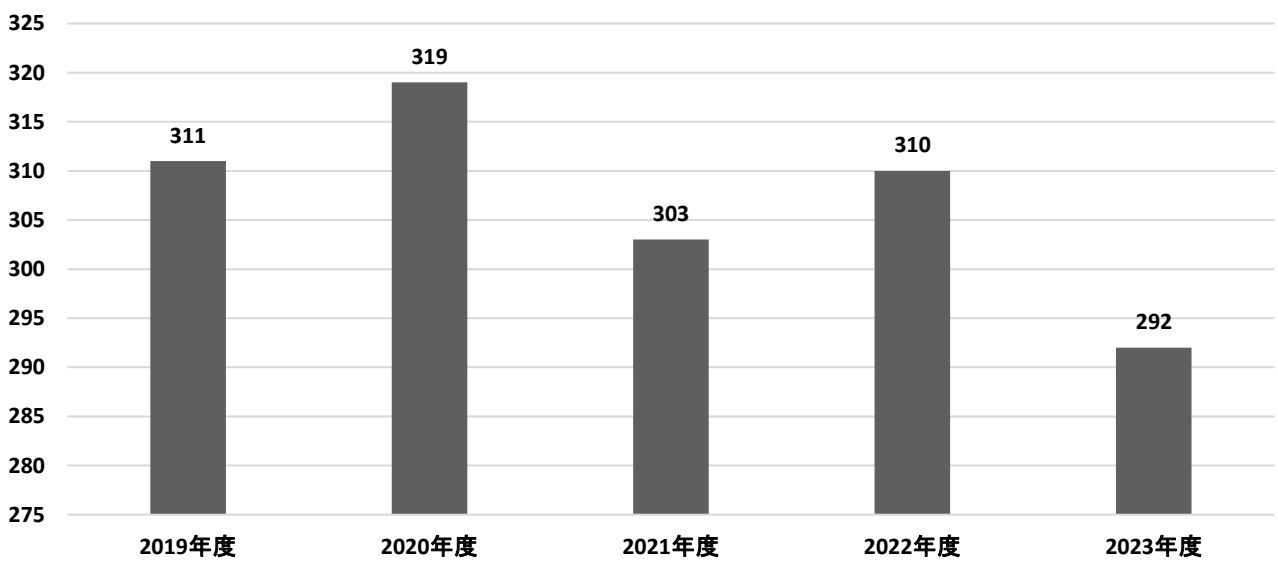
ガソリン使用量（L）



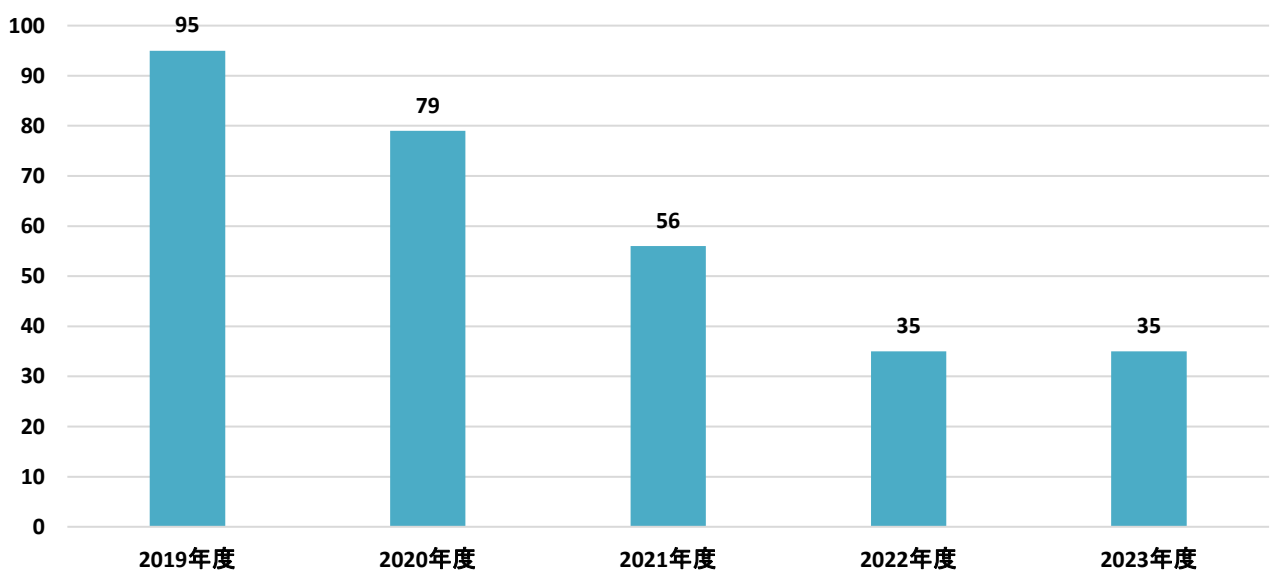
産業廃棄物(kg)



一般廃棄物(kg)



水(m3)



7. 環境経営計画の実績・評価

取組期間:2023年7月1日～2024年6月30日

目的			実施責任者	評価				
				2023		2024		総合
				7～9	10～12	1～3	4～6	
二酸化炭素	電力使用量の削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②エアコン使用時間を弊社就業時間(8:00～17:30)とする ③定時(17:30)退社を促す	総務部課長	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①車輻点検報告書提出の徹底 ②エコドライブの推進 ③毎月の使用量と目標値をグラフ化し、掲示	総務部部長	△	-	○	-	△
廃棄物	産業廃棄物の削減	①分別回収を行い、リサイクルを推進する ②段ボールは回収業者にて回収 ③倉庫内資材の整理、利用をする	工事部課長	○	○	○	○	○
	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②分別回収を行い、リサイクルを推進する ③間違いプリントの抑制	総務部課長	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②手洗い、食器洗い時、こまめに流水を止める	総務部課長	○	○	○	○	○
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	①コミュニケーションの強化 ②着工前準備の徹底 ③顧客要望の理解	工事部課長	○	○	○	○	○
地域貢献活動	地域で環境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	総務部課長	○	○	○	○	○

○:計画通り実施

△:一部できていない

×:できていない

7. 環境経営計画の実績・評価

目的		具体的実施項目	評価コメント
二酸化炭素	電力使用量の削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②エアコン使用時間を弊社就業時間(8:00～17:30)とする ③定時(17:30)退社を促す	①月間使用量と目標値の比較グラフと使用量累積グラフを作成し、使用場所に掲示していた。 ②猛暑により、始業時間前及び就業時間後にも使用していた。 ③定時で帰るよう促し、実行できた。
	ガソリン使用量の削減	①車輛点検報告書提出の徹底 ②エコドライブの推進 ③毎月の使用量と目標値をグラフ化し、掲示	①毎月、提出の有無と燃料使用量を一覧表にし、掲示した。 ②「エコドライブ10のすすめ」の掲示 ③月間使用量と目標値の比較グラフと使用量累積グラフを作成し、使用場所に掲示していた。
廃棄物	産業廃棄物の削減	①分別回収を行い、リサイクルを推進する ②段ボールは回収業者にて回収 ③倉庫内資材の整理、利用をする	①廃棄物の分別を呼び掛け、廃棄方法の注意書きを掲示した。 ②業者に回収してもらった。 ③倉庫内にある必要のない資材を廃棄、整理し、利用できるものは再利用した。
	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②分別回収を行い、リサイクルを推進する ③間違いプリントの抑制	①毎月、使用量と料金が分かり次第、グラフを作成し使用場所に掲示している。 ②廃棄物の分別を呼び掛け、廃棄方法の注意書きを掲示した。 ③間違いプリントをしたときは自己申告し、以後気を付けるようにした。
水使用量	節水	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②手洗い、食器洗い時、こまめに流水を止める	①月間使用量と目標値の比較グラフと使用量累積グラフを作成し、使用場所に掲示していた。 ②こまめに止めるよう促した。
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	①コミュニケーションの強化 ②着工前準備の徹底 ③顧客要望の理解	小工事請求書作成用紙に、①～③に関するチェック項目を記載し、記入している。
地域貢献活動	地域での環境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	①毎月朝礼後に、会社周辺道路の清掃活動を実施している。 ②業界団体が実施している清掃活動に参加した。

環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

[電力使用量の削減]

①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示



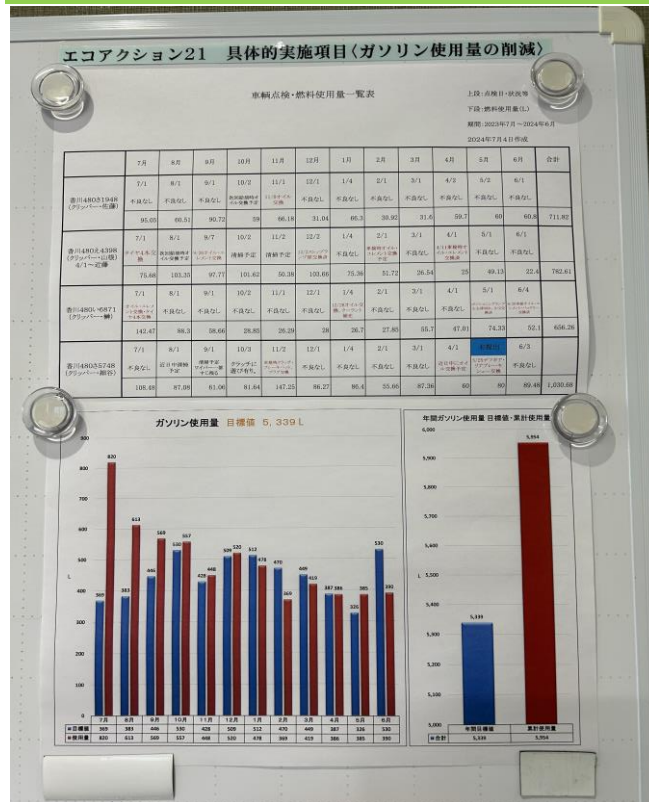
事務所屋上に太陽光発電システムを設置
2024年1月より稼働



[ガソリン使用量の削減]

①車輦点検報告書提出の徹底

③毎月の使用量と目標値をグラフ化し、掲示



[節水]

①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示

②手洗い、食器洗い時、こまめに流水を止める



[地域での環境配慮]

①清掃ボランティアへの参加(年1回)



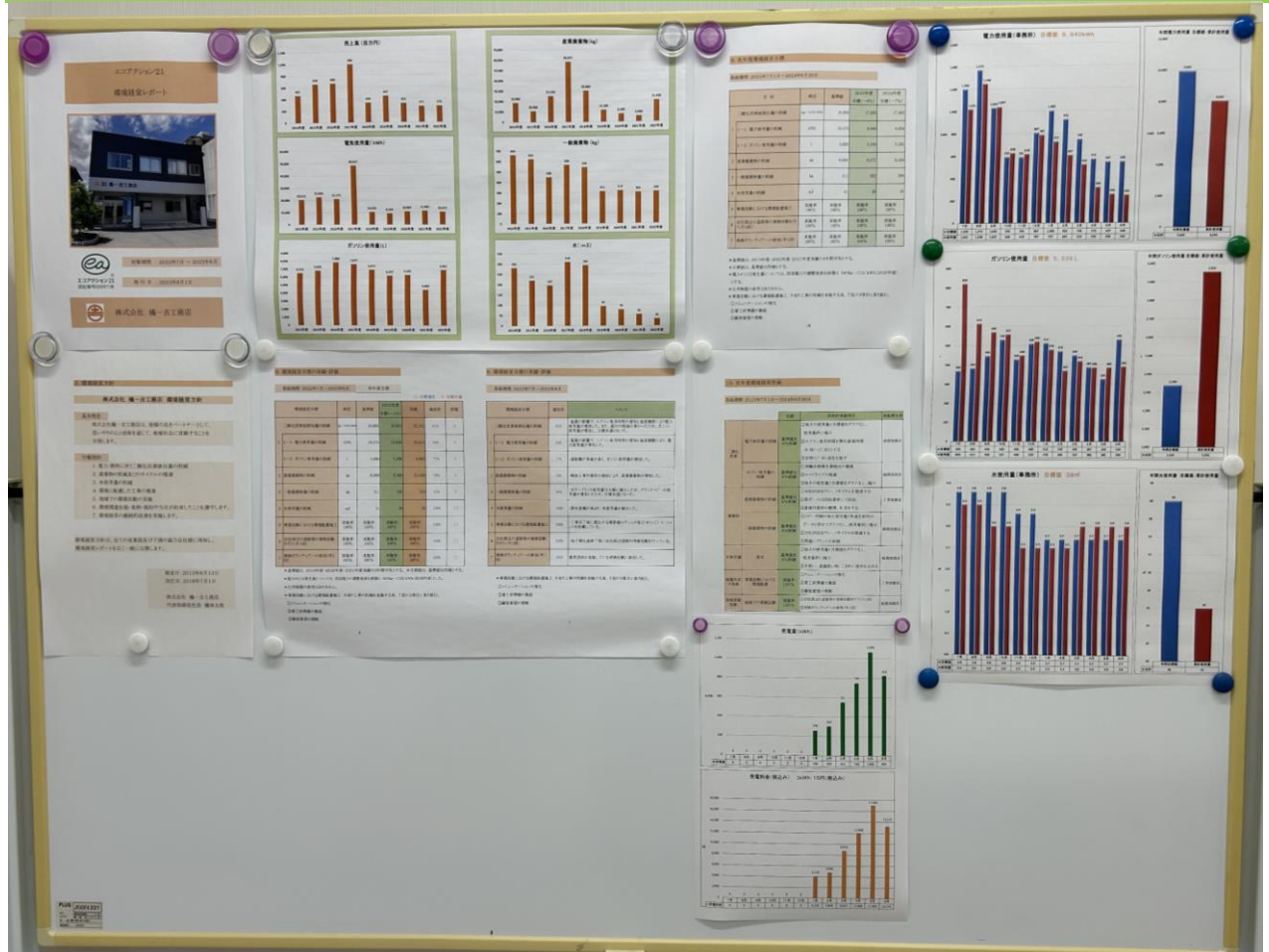
[緊急事態対応訓練]

香川県シェイクアウト(地震防災訓練)



〔使用量結果周知〕

電気・ガソリン・水の月間使用量と目標値グラフを掲示、朝礼時に確認



〔勉強会〕

ケミュー様による勉強会



社内勉強会



8. 次年度環境経営計画

取組期間:2024年7月1日～2025年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比7%削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②エアコン設定温度を夏期:28℃、冬期:20℃とする ③エアコン使用时、フィルターを1ヶ月に1回清掃	総務部課長
	ガソリン使用量の削減	基準値比7%削減	①車輛点検報告書提出の徹底 ②行動計画を立て、ムダな移動を削減する ③毎月の使用量と目標値をグラフ化し、掲示	総務部部長
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比7%削減	①分別回収を行い、リサイクルを推進する ②廃棄する時、利用できるかどうか考える。 ③倉庫内資材の整理、利用をする	工事部課長
	一般廃棄物の削減	基準値比7%削減	①コピー用紙の毎月使用量を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②分別回収を行い、リサイクルを推進する ③印刷前に印刷設定を再確認する	総務部課長
水使用量	節水	基準値比7%削減	①毎月の使用量と目標値をグラフ化し、使用場所に掲示 ②手洗い、食器洗い時、こまめに流水を止める	総務部課長
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	実施率100%	①コミュニケーションの強化 ②着工前準備の徹底 ③顧客要望の理解	工事部課長
地域貢献活動	地域での貢献活動	実施率100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	総務部課長

9. 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟の有無

当社に適用される環境法規制等の遵守をチェックした結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

今後も定期的に遵守確認を行い、法規制から逸脱することのないように致します。

名称/略称	手続き・遵守事項	遵守確認
廃棄物処理法	委託基準(委託先の許可確認)	遵守
	委託基準(委託契約の締結、契約書の5年間保存)	遵守
	管理票(マニフェスト)の交付義務	遵守
	交付状況報告他	遵守
	野外焼却の禁止	遵守
	保管基準	遵守
建設リサイクル法	発注者への計画等説明、書面による完了報告	遵守
容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物を適正に分別排出	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正な引渡し	遵守
建設廃棄物処理指針(平成22年度版)	産業廃棄物のマニフェストに基づく適正処理	遵守
労働安全衛生法・石綿則	解体・改修工事の事前調査結果等の報告	遵守
オフロード法	協力会社の持ち込み建設機械などの排ガス基準適合表示	遵守
フロン排出抑制法	解体前フロン類機器設置有無の確認他	遵守
	機器の所有者(管理者)によるフロン漏えい点検	遵守
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止他	遵守
建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル	建築物の解体等の石綿飛散防止	遵守
	建築物解体等での石綿ばく露防止	遵守
騒音規制法	建設機械使用作業時、作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	建設機械使用作業時、作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守
消防法(危政令)	火気の使用に関する規制	遵守
建築物省エネ法	省エネ性能説明義務	遵守
建設工事公衆災害防止対策要綱(建築・土木)	地盤沈下防止の処置他	遵守
	電波障害防止の措置	遵守
	埋設物の確認、重機等の接触転倒の防止他	遵守
作業所で同意するその他の要求事項	廃棄物の発生抑制他	遵守
	時間外作業(騒音の発生する作業)の連絡・禁止	遵守
	資材等の搬出入時、粉塵の発生防止、アイドリングストップ	遵守
	安全衛生への配慮(発注者からの要望)	遵守
香川県環境基本条例	第5条(事業者の責務)	遵守
高松市環境基本条例	第5条(事業者の責務)	遵守

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

☒ 定期見直し（事業年度終了後） ☐ 臨時見直し		代表者氏名及び役職 代表取締役 橘 伸太郎
評価実施日		2024年8月1日
見直しに必要な情報	環境管理責任者の報告及び改善への提案	
	取組状況の評価結果	①環境関連法規等の順守状況 違反・訴訟はありませんでした。
		②問題点の是正及び予防処置の状況 問題点はありませんでした。
	環境経営目標・環境経営計画の達成状況	2024年1月より稼働した太陽光発電システムにより電力使用量が大幅に削減されました。猛暑によるエアコン使用量増加の為ガソリン使用量が増加し、二酸化炭素総排出量の削減が目標未達となりました。産業廃棄物の削減も目標未達となりました。計画の実施項目については、エアコン使用時間が7～9月就業時間を越えて使用した以外は計画通り実施されました。
	周囲の変化の状況	①環境コミュニケーション(内部・外部) 外部からの苦情等はありませんでした。 内部については、部課長会議、工事会議、お客様会議を行い、情報の共有ができています。 工事会議では、毎月社員が講師となり、勉強会を開催しました。 メーカーの方に来て頂いて、新商品の説明を受けました。
		②環境関連法規等の動向他 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」「建設業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」を削除
環境管理責任者から改善への提案、コメント	ガソリン使用量と産業廃棄物の削減以外は、目標達成となりましたが、来期はさらに厳しい目標なので、達成できるように計画を立てます。 太陽光発電システムが半年の稼働で、電力使用量の目標達成率が120%となったので、来年度は一年分の結果が出るので大幅な削減となりそうです。	
代表者による見直し	変更の必要性の有無・指示事項など	
	環境経営方針	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 同方針にて取り組む。
	環境経営目標・環境経営計画	変更の必要性 環境経営目標: ☐ 有 ☒ 無・環境経営計画: ☒ 有 ☐ 無 昨年定めた目標にて実施する。 計画については、目標達成できるよう、熟慮する。
	実施体制	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無
	総括	概ね、想定通りの結果となっており大きな問題はないと考えています。ガソリン使用量は、毎日の行動計画にて移動業務の効率化を図り、常に意識し削減していく。ミス、段取り不足による無駄な移動が多いと考えている。Zoom等を利用しての会議を促進し、ムダな移動を削減していく。 全ての業務において考えて行動し、業務のスマート化の結果としてのエコ活動を目指してほしいと考えています。